

坂田康太郎×美矢知子

『トスカ』の上演は
11月17日より
新国立劇場にて



『トスカ』
新国立劇場 2012年公演より
撮影/三枝近志



専用劇場がほとんどない日本では、まだまだ本格的なオペラの魅力を味わう機会が少なく、オペラ文化が根付いていないと言えないのが現状です。たまに誘われても、何を着て行けば良いのかもわからず、戸惑う人は多いのではないのでしょうか。本日はオペラ大好きなお二人に、オペラの楽しみ方、ファッションの重要性について存分に語っていただきました。

坂田 オペラの魅力を端的に言うのと、すべてが「生」であるということに尽きると思うんですね。舞台芸術は基本的に全部そうですけど、特にオペラは、歌手、合唱の声やオーケストラ等、生演奏にこだわっている総合芸術。しかも劇場が小さいですから、観客席に直接届いて、身体全体で感じる事ができる、本当に贅沢なものです。

美矢 おっしゃる通りです。海外では、オペラハウス自体が舞台のひとつとして成り立っている場合が多いので、こちらでも舞台に参加している高揚感が伝わります。

坂田 まさにそこですよ。舞台と観客が一体となって、その空気がオペラを作り出していく。そしてその高揚感を皆で共有する喜び。したがって、観客である我々も参加者である、という意識を持つことがとても大切になるんです。オペラというのは通常、準備に4〜5年かかる。にもかかわらず、せいぜい数回しか上演しない。上演者たちが渾身のものを出してくる以上、受け取る我々も最大限に気分を高めて参加しなくちゃいけない。それがオペラ鑑賞の醍醐味でもあります。

美矢 私の場合はできるだけ演出によって着る衣装を変えています。『トゥーランドット』みたいなアジア系のものならアジアテイストを取り入れたドレスにしてみたり。その演出に合わせて装いをしにくと、芸術に入り込んで楽しむやすいですね。

坂田 ただ単にオシャレを楽しむ、ということだけでなく、本当の意味でオペラの喜びを体感できる。

美矢 日本ではまだそうした意識が薄いかな、とは思いますが、服装がどうであれオペラの内容は変わりませんが、私はオペラ別に装うことが好きなので、できれば一緒に行く方には少し気を使っていた方がいいかなと思います。

坂田 タキシードまでいなくても、最低限のフォーマル感を出して欲しいですね。海外の音楽祭等は本当に装いが華やかです。

美矢 そう思います。そもそもオペラを見るという文化活動自体が日本にはあまり浸透していないので、装いについての興味がそこまで湧かないというのも仕方ない事なのか

坂田 やはり劇場が少ない、というのが大きいと思います。専用劇場は新国立劇場等限られますから。世界の5大オペラハウスと呼ばれる、ミラノのスカラ座、ウィーンの国立歌劇場、パリオペラ座、ニューヨークメトロポリタンオペラハウス、そして英国ロイヤルオペラハウスですが、馬蹄型の劇場ですと、より劇場の雰囲気を感じやすいかもしれませんね。ミラノスカラ座などは鏡を多用しているのによって気分を高めていける。そうした相乗効果が劇場にはあるんです。新国立劇場はコンテンツポラリーな作りになっています。

美矢 そうですね、華やかなオペラハウスでも、コンテンツポラリーな劇場でも、劇場に流れる空気を一度でも感じてもらえればオペラの世界に入りやすくなると思います。

坂田 舞台と一体化して楽しむには、ある程度のオペラ鑑賞経験の量が必要とされるのも事実なので、最初は敷居が高いと感じるかもしれませんが、字幕も出ますし、初めてでも楽しめるはずですよ。

美矢 私も観はじめた頃はわからないことばかりで、少し難しいなと思ったこともありましたが、何度か繰り返し見続けていたら、ますます入り込むようになってしまっています。本日は皆さんが考えているほど敷居が高いわけではないと思うんです。

坂田 ホントにそう。私も同意見です。そういった意味では、間もなく新国立劇場で上演される「トスカ」は初心者向けでわかりやすく、最初のオペラ体験としては恰好の演目じゃないでしょうか。

美矢 そうですね。男子専科さんにはオペラの企画をどんどんやってもらって、日本の男性たちをもっと啓蒙していただければ。

坂田 それから、劇そのものだけじゃなく、幕間の楽しみも知っていただきたいですね。美矢 そうそう。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交

坂田 そうですね。幕間が社交

美矢 そうですね。幕間が社交



坂田康太郎 Kotaro Sakata

美矢知子 Tomoko Miya

コンテンツ・プロモーター。1985年 京都生まれ。インド在住。ビジネスで海外への日本文化の展開を行うと同時に海外の文化や芸術に触れる機会が増え、本格的にヨーロッパを中心に海外のクラシック音楽、バレエやオペラ観劇に通うようになる。IT広告代理店の海外事業部に従事後、フィンランドに留学。帰国後、日本最大のイラスト投稿サイト運営会社にて、日本の漫画やアニメ等のコンテンツを海外展開するためのWeb・イベント企画を統括するディレクター業務を担う。現在はインドにて日本コンテンツのPR、ブランディング業務を中心にビジネスを行っている。

音楽プロデューサー。クラシックコンサートや海外のオペラ招聘に携わりながら企業のメセナ活動や音楽芸術を通じて企業のCRM、CSR構築に多くの実績をあげる。わかりやすいオペラ・クラシック音楽解説で各メディアに多数出演。音楽誌、ファッション誌、芸術誌などにコラムを執筆。OTOMANA『オペラサロン』、三越『大人のオペラサロン』等多くのサロンの講師を務める。アーティスト支援プロジェクトCHANEL Pygmalion Days プロデューサー、LOHAS CLASSIC CDレーベルプロデューサー。株式会社CAP 代表取締役社長。